

外狩素心菴 そごういん 美術評論家。明治二十八年愛知縣生れ、昭和十九年四月、二十四日歿（八九三—九四四）。曹洞宗大學を經く、二松學舎卒、大正二年中外商業新報社入社、美術擔當記者、小倉學藝會館長、參撰。古美術に造詣深く、自ら書畫を能くした。

書畫の「龍門」二十品（昭和十四年四月五日ソトリ出版社「書道文庫」）、

「竹田」（昭和十四年六月、二十五日ソトリ出版社「東洋美術文庫」）等。

